

誰もが自分らしく 暮らせる社会づくり ～LGBTQ+と性の多様性について～

◆2024年5月13日(月)

●午後3時10分～午後4時50分

西宮上ヶ原キャンパス 中央講堂
およびオンライン同時配信

◆ 講師 / まつなか 松 中 権 氏
(認定NPO法人グッド・エイジング・エールズ 代表)

◆ 参加方法 /

【会場】事前申し込み不要

【オンライン】詳細は以下のURLまたは
QRコードからご確認ください。

<https://qrtn.jp/z76eac>



*本講演会では、手話通訳・パソコンテイクによる情報保障を予定しています。
また、講演会は録画し、後日、字幕をつけた動画を本学 Web サイト等で配信する予定です。

■講演内容

みなさんにとって身近な存在であるはずの「LGBTQ+」等の性的マイノリティはなかなか、身近に感じられにくいと言われています。

その理由は、多くの当事者と言われる方々が、カミングアウト(性のあり方を公にすること)をしていないから。それは、カミングアウトすることによって、まだまだ日本社会にある差別・偏見を受けることになるからだと考えられます。

前半は、私自身のパーソナル・ストーリーを共有することで、LGBTQ+の当事者のひとりが歩んできた人生について、追体験していただき、身近に感じるきっかけにいただければと思います。

後半は、性の多様性について丁寧に学ぶ時間、そして、LGBTQ+に関する世界の動き・日本の動きを中心に直近の法制度について学ぶ時間として進めていきたいと思っております。

■講師紹介

認定NPO法人グッド・エイジング・エールズ代表 / プライドハウス東京アドバイザー・理事 / 一般社団法人金沢レインボープライド共同代表 / 公益社団法人 Marriage for All Japan 結婚の自由をすべての人に理事 / 一般社団法人 work with Pride 代表 / 一般財団法人 mundef 理事

1976年、金沢市生まれ。ゲイ当事者。一橋大学法学部卒業後、電通に入社。海外研修制度で米国ニューヨークのNPO関連事業に携わった経験をもとに、2010年、NPO法人を仲間たちと設立。2016年、第7回若者力大賞「ユースリーダー賞」受賞。2017年6月末に16年間勤めた電通を退社し、二足のわらじからNPO専任代表に。LGBTQ+と社会をつなぐ場づくりを中心とした活動に加え、全国のLGBTQ+のポートレートをLeslie Keeが撮影する「OUT IN JAPAN」や、2020年を起点としたプロジェクト「プライドハウス東京」、結婚の平等(同性婚)の法制化等に取り組む。NHKドキュメンタリー番組「カラフルファミリー」が話題に。

2024年1月1日、石川県にて令和6年能登半島地震を経験し、翌日1月2日に地元の仲間たちと令和6年能登半島地震・民間支援事務局を立ち上げて、企業や団体からの支援物資の受け入れと現地へのお届けなどを開始する。その後、民間支援団体と避難所のマッチングや、著名人(MISIA、SmileUp、ネプチューン等)や地元シェフと連携した避難所での炊き出しなどを継続的に行う。現在、それらの活動をベースに、中長期的な能登復興を支援する一般社団法人 NOTOTO の立ち上げ準備中。

*車いすでご来場の方は、お席の配慮等をいたしますので事前にご連絡ください。

総合テーマ：
「インクルーシブな
社会の実現を
目指して」
(2020～2024年度)

関西学院大学人権教育研究室

Tel 0798-54-6720 / Mail human-rights@kwansei.ac.jp